

つるせ西だより



～今月の特集～

新年の抱負



富士見市★市制施行50周年

第179号(1・2月合併号)2023. 1. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1

TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 49



あけましておめでとーございます

「富士見」にちなんで

今回の地域の百景は、趣を変え、富士見にちなむ風景を案内します。その昔は、富士山が至る所から望めたため、「富士見」という言葉、地名を至る所で目にします。

そこで今回は、皇居東御苑に江戸城の遺構として残る富士見櫓を紹介させていただきます。現在の富士見櫓は、1659(万治2)年に再建され、どの方位から見ても正面からの姿に見えることから、「八方正面の櫓」とも言われます。また、その名が示す通り富士山をはじめ、秩父連山や筑波山、江戸湾などを一望することができ、将軍がこの櫓から西国の花火なども眺望したともいわれています。室町時代の武將で、江戸城を築いた太田道灌がこの眺望を次のような歌に詠んでいます。

わが庵は 松原つづき海近く 富士の高嶺を 軒端にぞ見る
春、秋に行われる「乾通り」の一般公開時に訪れて、今は高層建築物が林立する中に立つ富士見櫓ですが、富士見櫓に立つ将軍に思いをさせてはいかがでしょうか。

(撮影・文/堀口編集委員)

まちかどウォッチング

地域のつながりを大切に

昨年10月30日(日)に上沢3丁目集会所で「上沢3丁目町会の手作り作品展」を町会主催で開催しました。初めての試みでしたが、町会の皆さんに作品を募集したところ、たくさんの方が集まりました。

作品は、陶器、ミニ着物、パッチワークのバッグや小物、手芸品、写真、絵画、羽子板、ラベンダースティック、つるし雛など多岐にわたります。時間と手間をかけた力作ぞろいで圧倒されました。お持ち帰りコーナーには、手芸品のコースターやポケットティッシュカバーなどが並んでいました。

たくさんの方の自慢の作品が並び、作品を見ながら話に花が咲き、楽しい交流の場ができました。出展者の方からも「今まで見てもらう機会がなかったからうれしい」との声もあり、開催できてよかったなと思いました。

コロナ禍で町会のお祭りや行事がなくなり、久しぶりの行事の開催で大勢の方が参加されていました。改めて地域の交流やつながりの大切さを感じました。

(井之川)

